

CASBEE[®]新潟 | 評価結果 |



- 使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアルv.4.0、CASBEE-建築(新築)2016年版
- 使用評価ソフト: CASBEE新潟v.4.0.2

1. 建物概要

建物名称 建設地 用途地域 建物用途 竣工年 敷地面積 建築面積 延床面積 階数 構造 評価の段階 評価の実施日	第三貨物自動車株式会社 西センター新築工事 新潟県新潟市西区北場字立野787-1外25筆 準工業地域 工場, 2023年10月 予定 10,000.02 m ² 4,612.00 m ² 4,112.75 m ² 地上1F S造 実施設計段階評価 2023年4月10日	
-------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--

2. CASBEE新潟の評価結果

	B-	$BEE = \frac{Q \text{ 建築物の環境品質}}{L \text{ 建築物の環境負荷低減性}} = \frac{32.9}{39.6} = 0.8$
S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★		

3. 新潟市の重点項目の評価

項目	平均スコア	評価	取組	コード	スコア
1. 長寿命化の取組み 建築物を長く、安心・安全に使い続けるために	3.3		バリアフリー計画	Q2.1.1.3	-
			維持管理	Q2.1.3	2.5
			設備の更新性	Q2.3.3	4.0
2. 地震への取組み かけがえのない人命、財産を守るために	2.6		耐震・免震・制震・制振	Q2.2.1	3.0
			信頼性	Q2.2.4	2.2
3. 大雨への取組み 大雨に強いまちづくりのために	2.0		雨水排水負荷低減	LR3.2.3.1	2.0
4. 自然エネルギー利用の取組み 地球温暖化対策のために	3.0		建物外皮の熱負荷抑制	LR1.1	-
			自然エネルギー利用	LR1.2	3.0
5. 資源循環の取組み 持続可能な循環型社会づくりのために	3.0		節水	LR2.1.1	-
			躯体材料以外でのリサイクル材の使用	LR2.2.4	1.0
			部材の再利用可能性向上への取組み	LR2.2.6	5.0
6. 水と緑を活かす取組み 豊かな自然環境を次世代に引き継ぐために	1.5		生物環境の保全と創出	Q3.1	1.0
			敷地内温熱環境の向上	Q3.3.2	2.0
7. 新潟のまちなみへの取組み 地域の個性や魅力を活かしたまちづくりのために	2.0		まちなみ・景観への配慮	Q3.2	1.0
			地域性への配慮、快適性の向上	Q3.3.1	3.0

4. 新潟市の重点項目の配慮事項

屋外等の照度を抑えることで周辺の田畑への光害対策を講じた。

CASBEE®新潟

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアルv.4.0、CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE新潟v.4.0.2

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	第三貨物自動車株式会社 西センター新築工事	階数	地上1F
建設地	新潟県新潟市西区北場字立野787-1外25筆	構造	S造
用途地域	準工業地域	平均居住人員	0 人
地域区分	5地域	年間使用時間	0 時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年10月 予定	評価の実施日	2023年4月10日
敷地面積	10,000 m ²	作成者	(株)加賀田組
建築面積	4,612 m ²	確認日	
延床面積	4,113 m ²	確認者	

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.8 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 5
Q1 室内環境: 3
Q3 室外環境(敷地内): 3
LR1 エネルギー: 3
LR2 資源・マテリアル: 3
LR3 敷地外環境: 3

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.3

Q1 室内環境

Q1のスコア= 2.3

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.3

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 1.4

LR のスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.7

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.9

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.4

3 設計上の配慮事項		
総合 倉庫という用途から単純な平面計画及び荷積みに対応できる十分な高さに配慮した計画とした。		その他 0
Q1 室内環境 外皮(外壁、屋根)に断熱材を充填することで、温熱環境に配慮した。	Q2 サービス性能 十分な広さ、高さを持つ空間として、物の大きさや数量に対して柔軟にストックできるように配慮した。	Q3 室外環境(敷地内) 搬出入する運搬車が容易に通行出来るよう道路に面するスペースを大きくし、緑地は出来るだけ影響の少ない配置とした。
LR1 エネルギー 建物の断熱性能の向上を図るとともに、高効率の器具を採用することで省エネルギーに配慮する計画とした。	LR2 資源・マテリアル 必要最低限の間仕切壁配置とし、使用材料等の機能上の低減を図れるよう配慮した。	LR3 敷地外環境 周囲に圃場があるので建物による日影や夜間照明による影響のない様、建築物配置や照明計画に配慮した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される